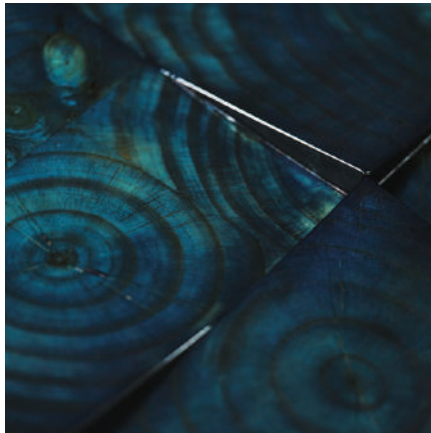




 RADIAL SQUARE



木の命を全うさせる

Radial Square は、木が持つ“魂”を表現するアートです。
一つひとつのパネルには、年輪が刻んできた樹木の生きた物語が宿っています。
熟練した日本の職人が、本来であれば廃材となる木に新たな命を吹き込み、精密な突板技術でその美しさを最大限に引き出しています。

伝統的な突板加工と現代的な美意識を融合した Radial Square は、
サステナビリティ・アート性・デザイン性 の調和を体現する作品です。



HIROMEIについて

HIROMEI は、広島県府中市に拠点を置く天然木突板のメーカーです。府中市は長いあいだ「家具のまち」として親しまれ、森林と職人文化に囲まれたこの土地では、世代を超えて、人と木の深い結びつきが育まれてきました。

その伝統を受け継ぎながら、HIROMEI が静かに追い求めてきたのは、木にその生をまっとうさせる——ただその一つの信念です。

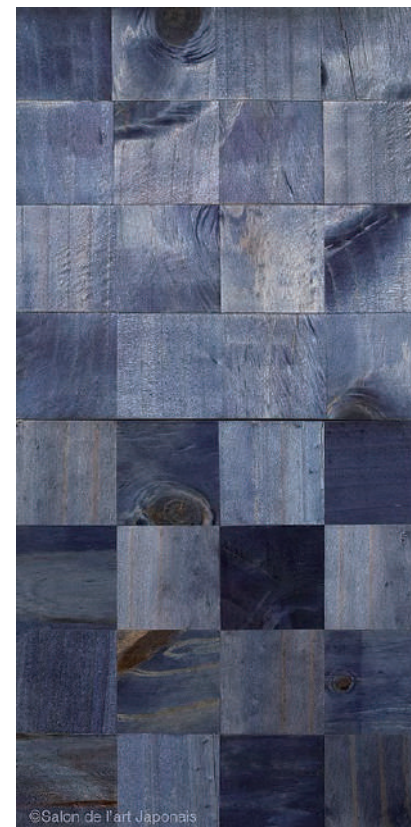


Radial Square 誕生の物語

HIROMEI の創業職人の一人である 藤原清二 は、生涯をかけて木の声に耳を傾けてきました。彼は、子どもが大切に拾う小石のように、木の一片一片にも固有の価値が宿っていると信じていました。

藤原にとって木とは、単なる素材ではなく、時間と自然がかたちづくった“ひとつの生命の断片”でした。その信念から、樹木の内側に秘められた美しさをアートとして表現するという発想が生まれたのです。

忍耐に満ちた手仕事と、静かな敬意をもって、最初の Radial Square が誕生しました。それは、木が宿す生命の呼吸が、人の技と調和しながら今も息づく作品です。

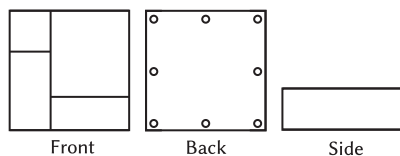


Radiata Blue by Seiji Fujiwara





升
MASU



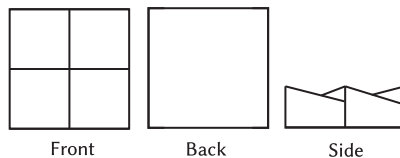
年輪の突板で構成されたデザインは、
波紋のような表情を見せてくれる

日本の伝統的な計量器具として長い歴史を持ち、その起源は8世紀にまで遡ります。当時、米や酒の計量に使用され、現在でも木の香りが風味を引き立てることから日本酒を飲む際に使われます。また、升の「ます」が「福が増す」や「ますます繁盛する」に通じ、結婚式など、色々なお祝いごとでの贈り物として喜ばれます。

Size / H24 × W24 × D4 (cm) Weight / 600g



瓦
KAWARA

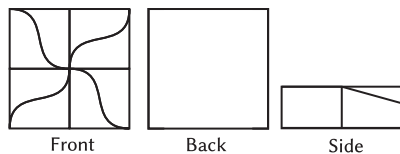


パーツを曲げることでより光の当たり方が変化し、
木目の美しさをより引き立てる

瓦には、家屋を風雨や火災から守る物理的な役割だけでなく、魔除けや招福、健康、長寿などの願いが込められた縁起物としての意味があります。鬼瓦は魔を払う、鶴亀は長寿や夫婦円満、青海波は平穏な暮らし、松皮菱は繁栄など、様々な文様やモチーフの瓦が幸福を祈願して屋根や壁、あるいは室内装飾として用いられてきました。

Size / H50 × W50 × D5 (cm) Weight / 2600g

風車
KAZAGURUMA



流れるようなカーブと傾きで複雑な立体感が生まれ、
まるで風車を彷彿させる

風車は、日本では古くから縁起物として親しまれており、特に「商売繁盛」や「家内安全」を願う意味が込められています。風を受けて回る様子から、「順風満帆」「幸運が巡る」といった前向きな意味も持つとされています。

Size / H50 × W50 × D4.5 (cm) Weight / 3100g



Color Variation



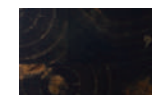
亀甲 Bekkou
(Yellow)



雪白 Seppaku
(White)



弁柄 Bengala
(Red)



漆黒 Sikkoku
(Black)



青藍 Seiran
(Indigo)





